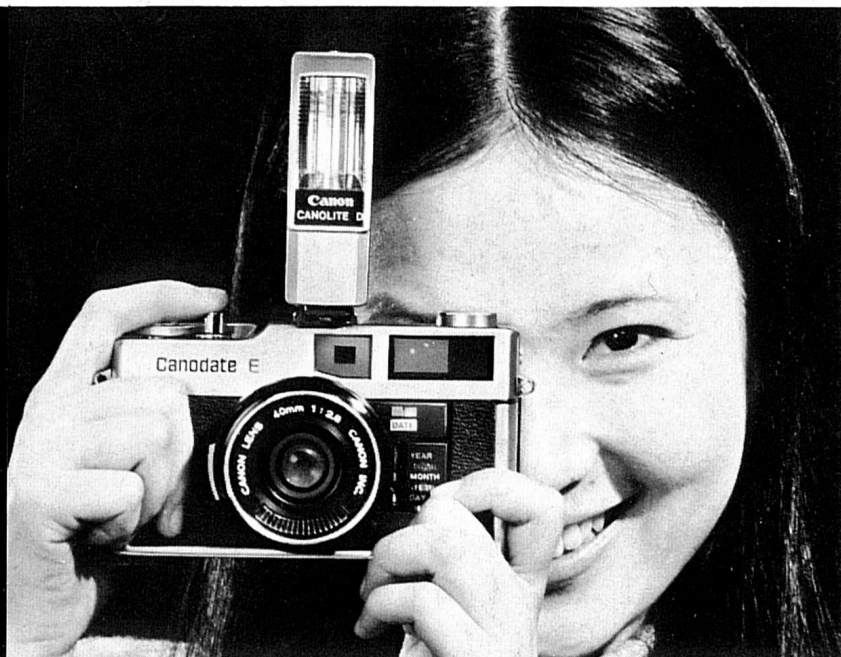


Canon キヤノデット E NEW!

使用説明書



キヤノデート E をお買い上げいただきありがとうございます。このカメラは日付け写し込み機構をはじめ、撮影を楽しくすすめるすぐれた機構をもっています。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、その性能を十分にご活用ください。



キヤノデトEの性能

レンズ：キヤノンレンズ40mm F2.8 3群4枚構成，

画角55°スペクトラコーティング

焦点調節：前玉回転による距離計連動

距離目盛：ft 3 5 10 20
 m 0.8 1 1.5 2 3 5 · ∞

シャッター：4秒～1/800秒プログラム式 電気シャ
ッター 電源は 1.4V HM-N型 水銀電池2個使
用

EE機構：CdS使用の電気シャッターによるプログラ
ムEE

EE連動範囲：ASA400・F2.8・4秒～ASA25・F13.
5・1/800秒ASA100でEV1～17

フィルム感度目盛：ASA25～400

フィルター補正：自動

フラッシュオート機構：キヤノライトD使用によりEE
のままで距離合わせに連動する自動露出機構一般
の発光器ではガイドナンバーセットによるフラッ
シュオート撮影

EE-フラッシュオートの切り換え：発光器を装着すれ

ばEV8以上はEE撮影EV8未満ではフラッシュオート
に自動的に切り換えられる

ガイドナンバー目盛：56 40 28 20 14 10

シンクロ接点：X接点

ファインダー：視野内にパララックス補正マーク 視
野枠 日付け写し込みマーク 距離計バッテリー
チェッカー兼手ぶれ警告ランプ(橙) フラッシュ
撮影ランプ(黄)などを表示

日付け写し込み機構：外部ダイヤルセットによる日付
けまたは記号写し込みスーパーインポーズ方式

フィルム巻き上げ：1作動130°回転巻き上げレバー式
小刻み巻き上げ可能

フィルム装填：多スリット型フィルムスプール採用の
迅速装填

フィルム枚数計：裏蓋開閉による自動復帰順算式

アクセサリシュー：フラッシュ直結接点およびフラ
ッシュオートコントロール接点付き

フラッシュターミナル：JIS B型ソケット

大きさ・重量：133×76×59mm・580 g

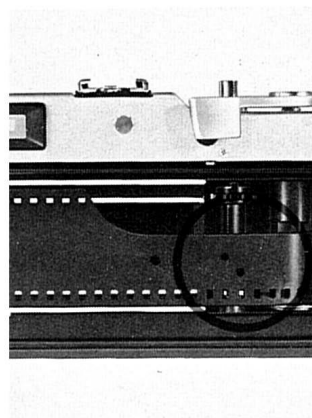
※都合により製品の外観デザインの一部を変更することがあります。

目 次

水銀電池のつめ方	8
バッテリーチェック	9
フィルム装填	10
フィルム巻き上げ	13
日付け写し込み	14
EE 撮影	18
ファインダー	22
フィルムの巻き戻し	26
フラッシュ撮影	28
カメラの保持の注意	33
アクセサリー	35

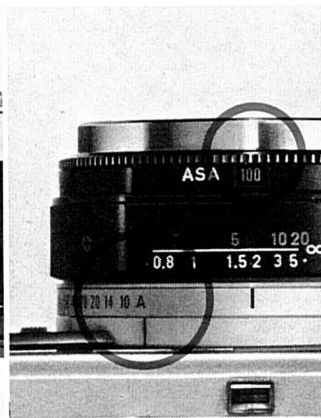
撮影手順

1



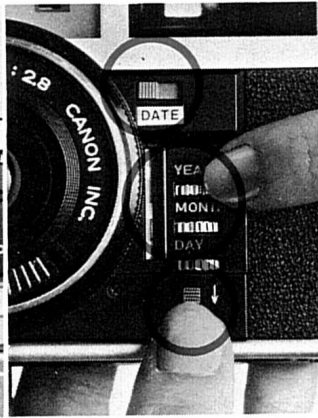
フィルムをつめる

2



ASA感度を合わせる
A(オート)にセット

3



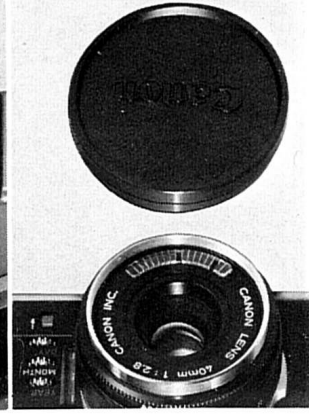
日付けをセット

4



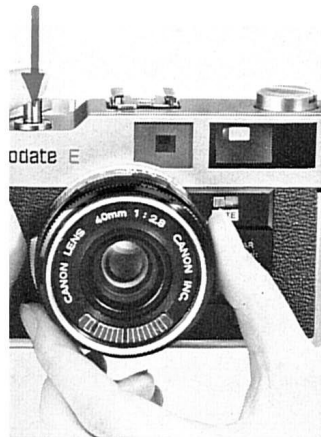
フィルムを巻き上げ

5

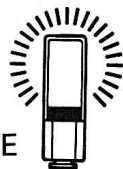


キャップをはずし

明るいときはEE撮影



ピントを合わせる
シャッターボタンを押す



暗い場所ではフラッシュEE



水銀電池

このカメラは電気シャッター、日付け写し込みなどの電源として、HM-N(1.4V)型水銀電池2個を用います。ご使用前にならず水銀電池をカメラに入れてください。

*耐用期間は約1年です。.

*電池を取りかえるときは、2個いっしょに取りかえてください。

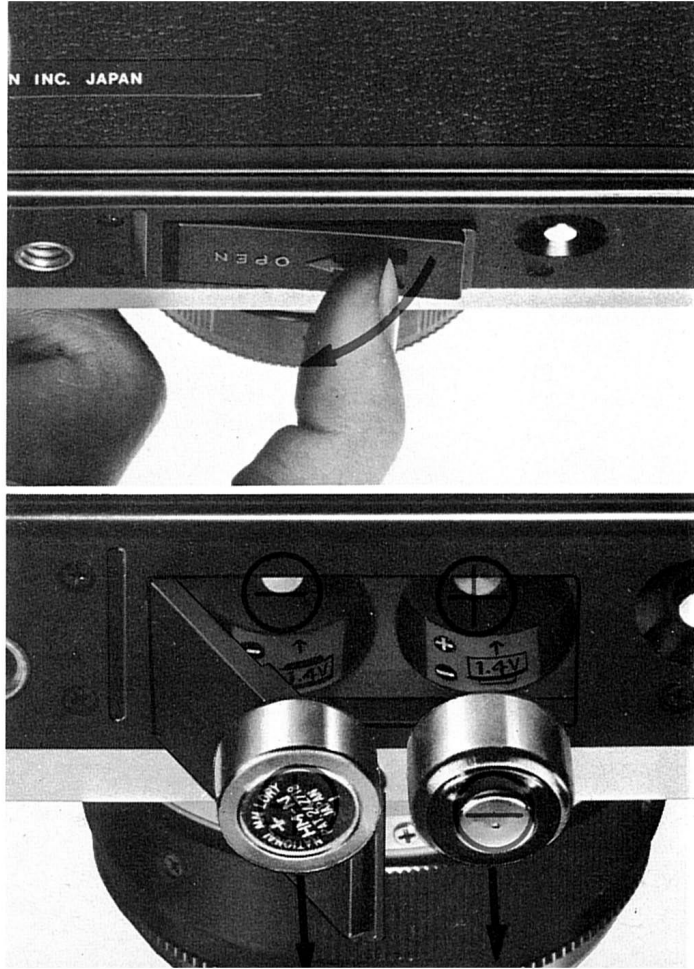
水銀電池のつめ方

1 水銀電池室カバーの溝に爪先を入れて矢印方向に押し開きます。

2 電池室内の表示図にしたがって、 $\oplus$ $\ominus$ の向きをまちがえぬように入れます。

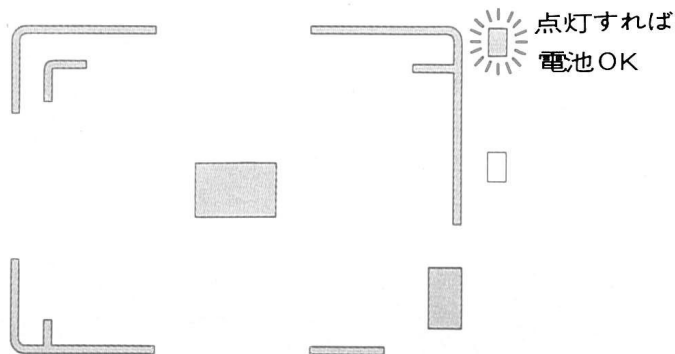
3 カバーを爪先で矢印方向に押し付けながら閉じます。

*水銀電池に汗や指紋をつけたまま入れますと、接触不良でシャッターが動かないことがあります。また、カメラ側の電気接点が腐蝕されていたんでしまうおそれもあります。汚れていたら、ふき取って入れてください。





バッテリーチェック



バッテリーチェック

シャッターボタンを軽く押し下げると、電池が十分の場合はバッテリーチェックランプが点灯します。同時にファインダー内の橙ランプも点灯します。

水銀電池が消耗していると正しい露出が得られません。撮影中もバッテリーを確認して撮影ミスのおこらないように注意してください。

*点灯しないときは電池をとり換えてください。水銀電池はカメラ小売店で売っています。HM-N (1.4V) 型とご指定ください。

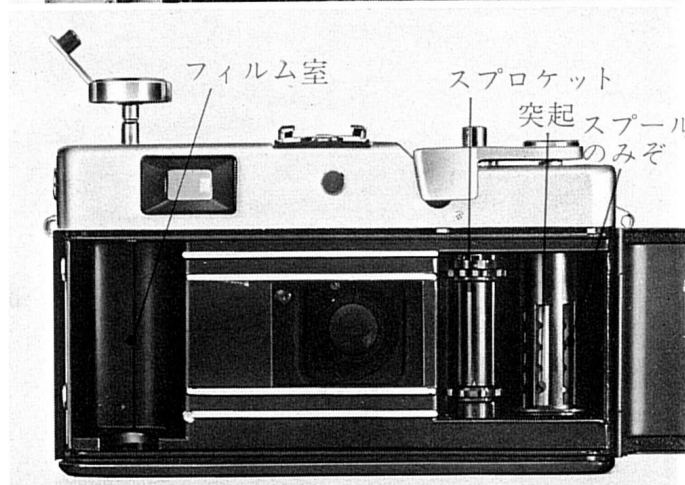
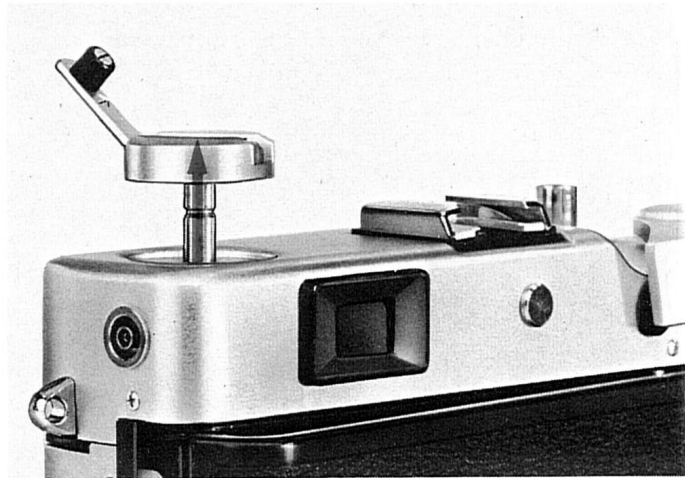
次の場合はシャッターボタンがロックされて作動しません。水銀電池を調べてください。

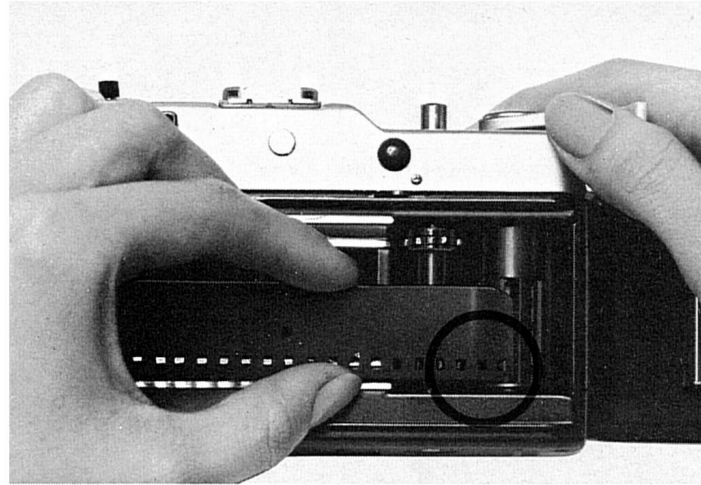
1. 水銀電池が入っていないとき
2. 水銀電池が腐蝕等で接触不良をおこしているとき
3. 水銀電池が完全に消耗されてしまったとき

フィルムのつめ方

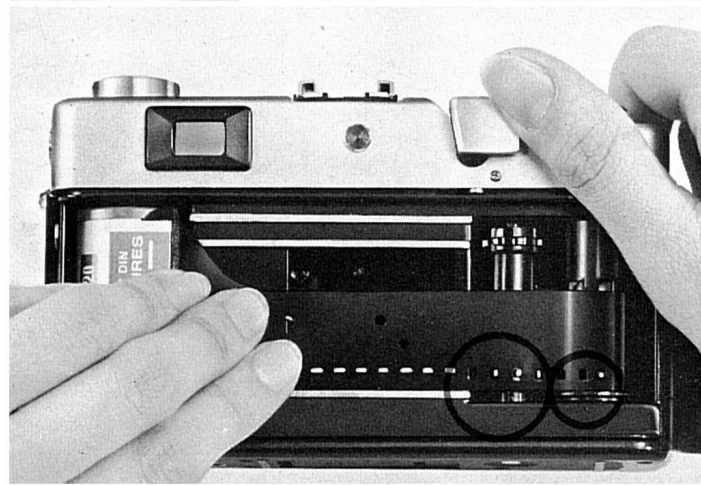
1 巻き戻しノブを上方に引き出し、さらに持ち上げると裏蓋が開きます。

2 フィルムのパトローネをフィルム室に入れ、巻き戻しノブを押し下げて、パトローネ軸にさし込みます。





3 フィルムを少し引き出して、先端をスプールの溝にさし込みます。2穴分位が適当です。



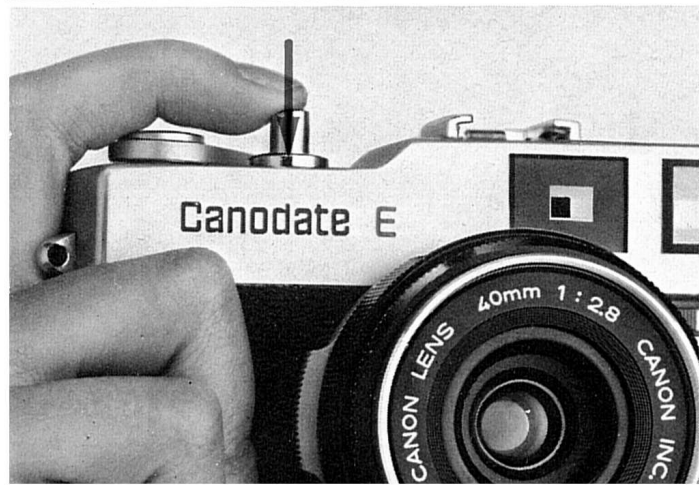
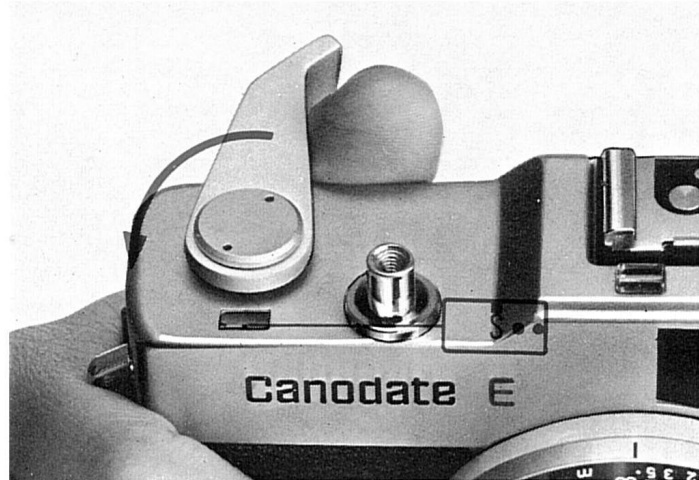
4 溝ぎわの突起にパーフォレーションの穴がかかるように注意しながら、巻き上げレバーを回し、フィルムを巻き取り軸に一回転巻き付けます。

5 パトローネの向きが正しくはいっていることを確認してから裏蓋を閉じます。裏蓋は押すだけで閉まります。

***フィルム装填の確かめ**

フィルムのゆるみをとるため、巻き戻しクランクをクランクレバーの矢印方向に抵抗を感じるまで回しておきます。その上で巻き上げレバーを回すと、フィルム装填が正しく行われているときは、巻き戻しクランクが反時計方向に回転します。





フィルム巻き上げ

巻き上げレバーを一杯に回すと、撮影済みのフィルムが1コマ分送られ、つぎの撮影が準備されます。

フィルムをつめて裏蓋を閉じたのち、フィルムを巻き上げシャッターボタンを押す操作を2回くり返し、もう1度巻き上げると1枚目の撮影準備完了です。フィルム枚数計はこの間S(スタート)からOを経て、1枚目を表わす(・)に進みます。フィルム枚数計には撮影済みのコマ数が表示されます。

*巻き上げレバーは小刻みにくり返して巻き上げることできます。

DATE

DATE機構にはそれぞれつぎの数字（文字）が組み込まれています。。

YEAR（年） 70～89（西暦の下2桁）0～9 □

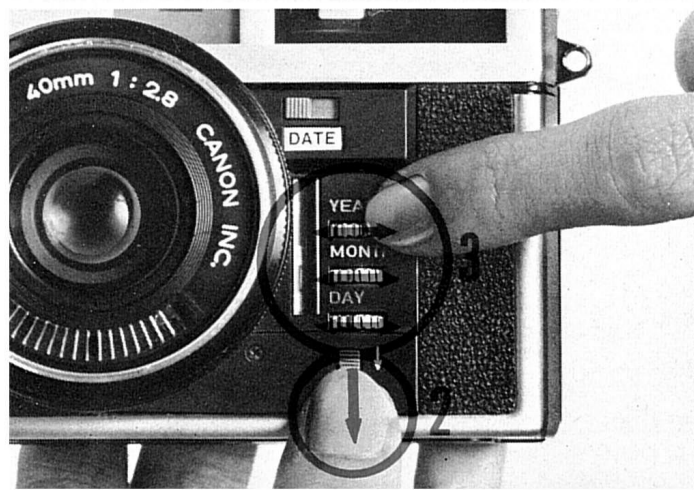
MONTH（月） 0～12 I～XII A～E □

DAY（日） 1～31 □

*□印は空欄を示し、写真にはなにも写りません。
これらの数字（文字）を組合わせて日付けや整理番号としてご利用いただけます。

日付け用スイッチ1を左側にセット（金色が出ます）すると、撮影と同時に数字（文字）が写し込まれます。
写し込まれる位置はファインダーをのぞいて画面の右





下部です。黑白写真の場合は白抜きで写ります。したがって右下部に白っぽい被写体がこないようにすると、よりはっきり見えます。カラー写真の場合はオレンジ色に出ます。

セットの方法は日付けロック解除レバー **2** を矢印の方向に押し下げたままセットダイヤル **3** を回して数字（文字）を出します。ダイヤルは左右どちらにも回転します。

日付けセット

日付けは上から三段に写し込まれます。セット操作部の表示窓では、上から年、月、日の順ですが、でき上がった写真には日、月、年の順に写し込まれます。

整理番号セット

整理番号は一連番号 **00～999** (**DAY** の **1～31** を使うと最大 **3199** まで) やアルファベットとの組み合わせ (**A1～A9** など) で分類用に利用することもできます。フィルム面には表示窓と逆の順序で写し込まれますから、表示窓には整理番号を逆の順序でセットしてください。例えば整理番号 **24×7** は **YEAR 7, MONTH X, DAY 24** のようにセットします。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
	E	D	C	B	A	XII	XI	X	IX	VIII	VII	VI	V	IV	III	II	I	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	



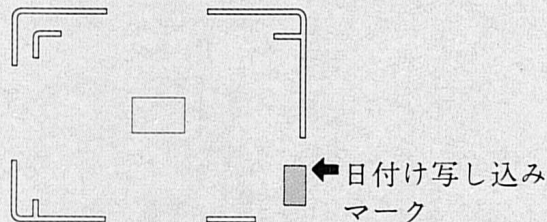
7 YEAR 72
X MONTH 10
24 DAY 7

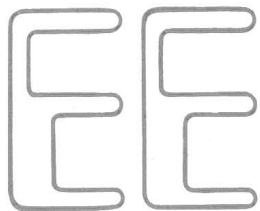




日付け写し込みマーク

- * 日付け写し込みをセットすると、ファインダー右下に日付け写し込みを示すマークがあらわれます。
- * カラースライドの場合、マウントのしかたによっては日付けの一部がかくれことがあります。ジャンボサイズの伸しの場合も同様です。
- * フィルム巻き上げは、シャッターボタンが完全に戻りきってから行なってください。途中で巻き上げると日付け文字がながれることがあります。
- * フィルムを途中まで撮影して取り出し、ふたたび装填して残りを撮影する場合は、これから写そうとするフィルム位置まで送らないうちに、日付け写し込みをセットしないでください。途中取り出し前に撮影したフィルムに、不要の日付けが写し込まれてしまいます。





EE撮影の準備

1 EEセット

EE-フラッシュセットリングを回して、Aマークに指標を合わせます。

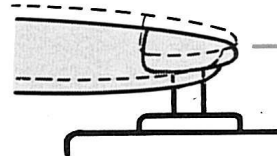
2 フィルム感度セット

ASAセットリングを回して、ASA窓に使用するフィルムの感度の数値を出します。ASA感度は、フィルムの外箱に表示されています。

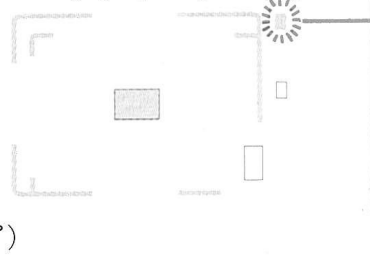




軽くシャッターボタンを押す

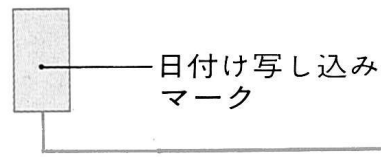
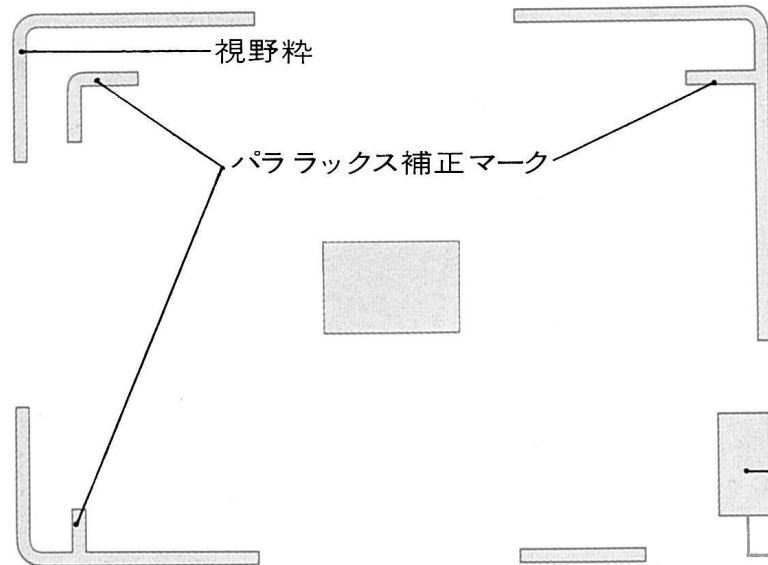


バッテリーチェックOK



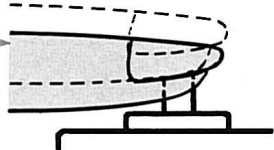
— 橙ランプ
(バッテリーチェックと
手ぶれ警告ランプ)

— 黄ランプ
(フラッシュ準備ランプ)



72 3 8	YEAR				
	MONTH				
	DAY				

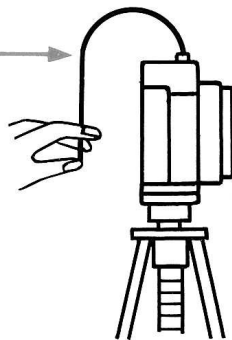
さらに深く押す



ランプが消えた場合はそのままEE 撮影 OK

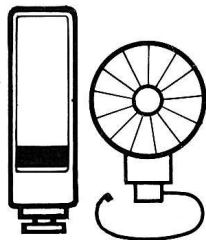


長時間露光 (三脚とリリース)



フラッシュ撮影 OK

フラッシュの準備



ファインダー

ファインダーの視野のなかには、つぎのような機能が集まっています。

1. 構図の決定

白い枠の中が写される範囲です。ただし1m以下に近づいて写すときは、パララックス補正マーク内で構図を決めてください。

2. ピント合わせ

レンズはカメラと被写体までの距離によって、ピントを結ぶ面がちがいます。ピントの合った写真をとるためには、距離リングを回してピント合わせをします。ファインダーの中央部の四角い枠（ピント調節窓）のなかで、像が二重に見えるときはピントがはずれています。二重の像がひとつに重なったとき正しいピントの写真がとれます。

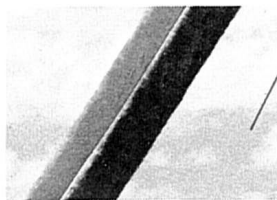
ファインダーをのぞきながら距離リングを回して合わせてください。



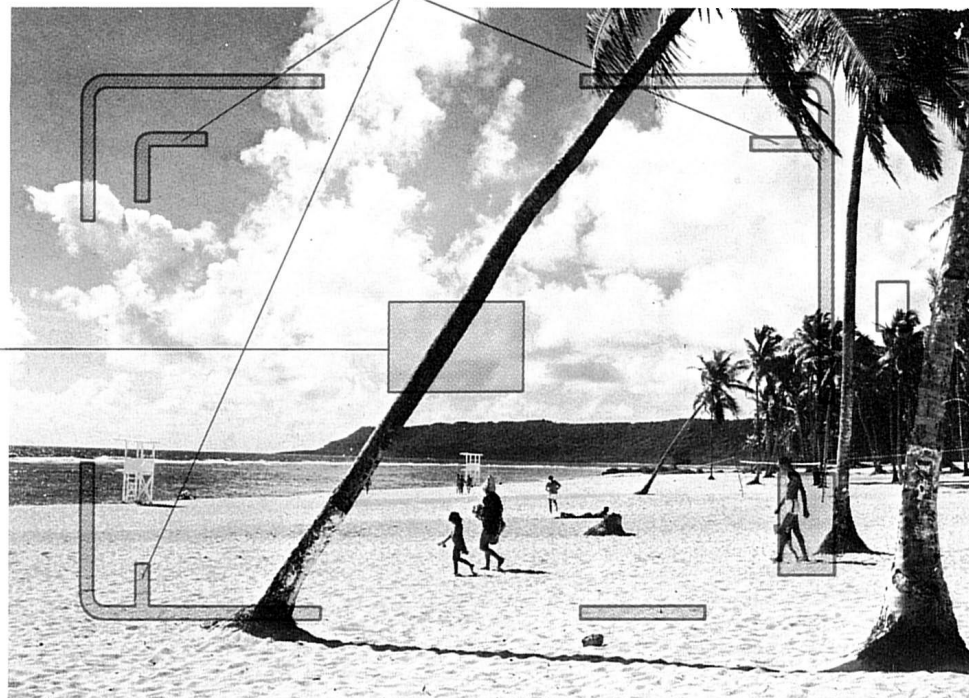
パララックス補正マーク



ピントが合っている



ピントがはずれている



3. 露出の確認

さて、いよいよシャッターボタンを押して撮影する番です。

i) バッテリーチェック

ファインダーを見ながらシャッターボタンを軽く押すと、水銀電池の電圧が十分なときは右上の橙ランプが点灯します。

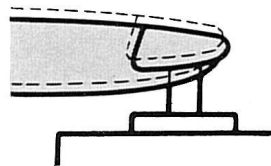
ii) 手ぶれ警告マーク

さらにシャッターボタンを深く押すと、ランプが消えた場合は**EE撮影OK**、適正露出の写真がとれます。そのままシャッターを切ってください。

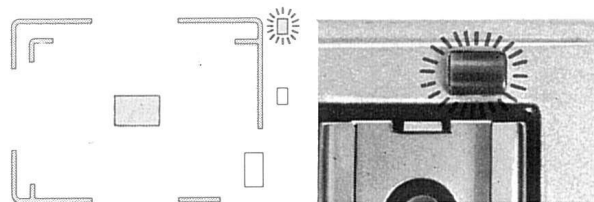
橙ランプが消えないときは、明るさが足りないので**1/30秒以上の長時間露出**になるという警告です。

警告マークが出たときは、手ブレを防ぐために三脚を使用するかフラッシュ撮影に切り換えてください。

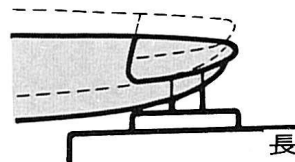
軽くシャッターボタンを押す



バッテリーチェック OK

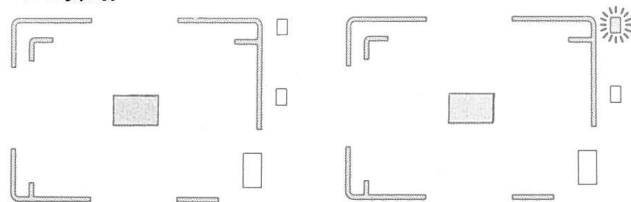


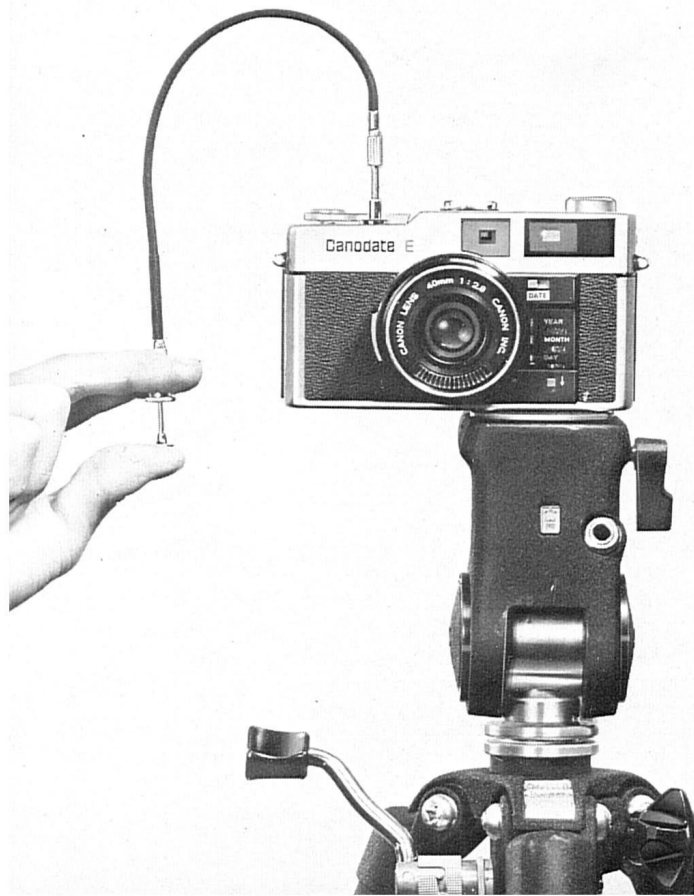
さらに深く押す



EE撮影OK

長時間露光又は
フラッシュ撮影



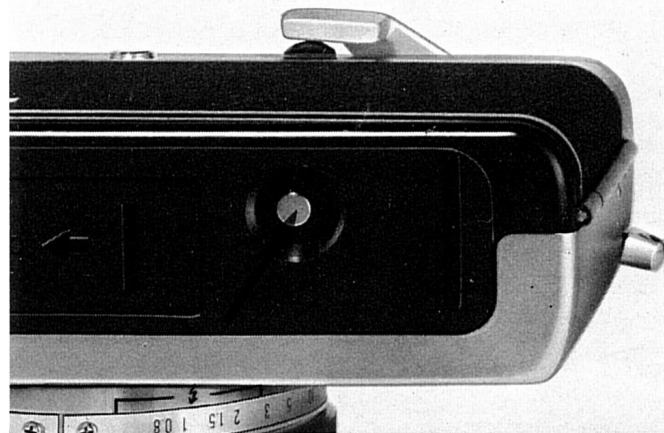


- *三脚を使って長時間露出をするときは、シャッターが完全に切れるまで、シャッターボタンから指を離さないでください。シャッターボタンを押しつづけ、ランプが消えてから指を離すようにします。
- *シャッターボタンを押しながら、あるいは押したシャッターが完全に戻らぬうちに、巻き上げレバーを回さないでください。
- *長時間露出のときはキャノンレリーズのご使用をおすすめします。

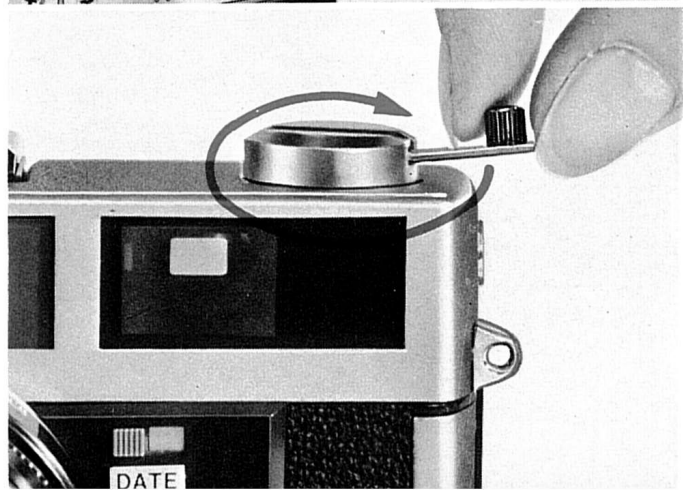
フィルム巻き戻し

フィルムの全コマ数の撮影が終わったら、フィルムをパトローネ内に巻き戻してから取り出します。

1 カメラ底部の巻き戻しボタンを押し込みます。



2 巻き戻しクランクを引き起こして、矢印方向に回します。





- 3** 巻き戻しの抵抗感がなくなったら、裏蓋をあけて
パトローネを取り出します。

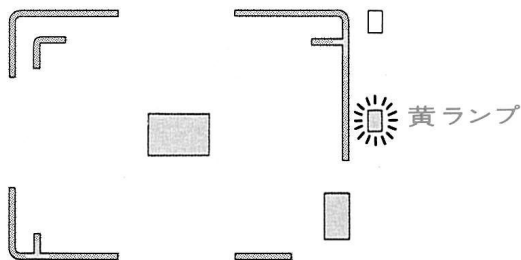
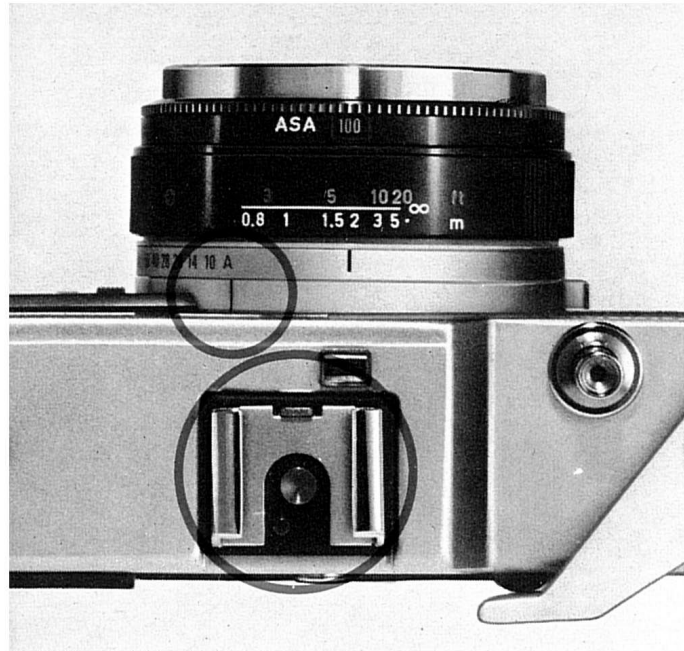
FLASH

フラッシュ撮影

キャノデートEはフラッシュやストロボを使ったときもEE撮影同様、ピント合わせだけで適正露出の写真が自動的に得られます。しかも、フラッシュを装着したまま撮影してもEV8以上の明るさのときは、自動的にEEに切り換わるという便利なカメラです。暗い条件下では自動的にフラッシュに切り換わって発光します。

*キャノライトDとその他の発光器を用いたときとは、使用手順がちがいます。それぞれの項をよくごらんください。なお、アクセサリシューを使用しない発光器（ブラケットによる装着など）は使えません。





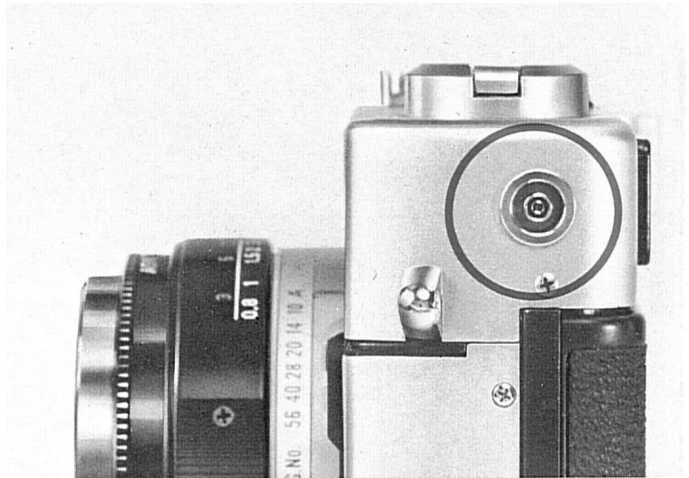
キャノライトDの場合

- 1 EE-フラッシュセッティングリングはA (Auto)のままにしてください。
- 2 キャノライトDをアクセサリシューに取り付けます。キャノライトDのスイッチをオン(ON)にし、ネオンランプの点灯を確認します。
- 3 ピントを合わせます。距離に応じて自動的に絞りが決まります。キャノライトDを使う場合、撮影距離は1m～5mの範囲にしてください。
*この範囲からはずれると、適正露出になりません。
- 4 シャッターボタンを軽く押し下げると、ファインダー内に橙ランプが点灯し、さらにシャッターを深く押すと黄色のランプに切り換わります。この黄色ランプはフラッシュ撮影準備OKのサインです。
- 5 その他の撮影はEE撮影とまったく同じです。キャノライトDは、充電状態がつねにカメラ側の回路に伝えられているので、そのときの充電圧量に応じた適正絞りが選ばれます。
*キャノライトDのスイッチをオフ(OFF)にしておくと発光せず不適正露出になります。ご注意ください。

FLASH

その他の発光器の場合

1 アクセサリーシューに発光器をつけ、コード式のものはフラッシュターミナルにコード先端をつなぎます。





2 使用するフラッシュバルブまたはストロボによって、ガイドナンバーが決まっています。EE-フラッシュセットリングを回して、そのガイドナンバーの数値に指標を合わせます。

*シャッタースピードは自動的に1/30秒にセットされ、ピント合わせによって絞りが決まります。

*連動距離範囲はレンズリングの下部に示してあります。ガイドナンバーを合わせたのち、連動距離範囲をごらんください。赤い線で囲まれた範囲が適正露出になります。



ガイドナンバーの換算

ガイドナンバーの数値は**ASA100**を基準にしてありますから、フィルム感度が変わるとガイドナンバーを換算してセットします。換算には右の表をご利用ください。

* ガイドナンバーはバルブの外箱またはストロボの説明書に記されています。

* ガイドナンバーにはメーターとフィードがありますが、このカメラではメーターのガイドナンバーをご使用ください。

ASA	25 32	40 50 64	80 100 125	160 200 250	320 400
ガイド ナンバ ー			10	14	20
		10	14	20	28
	10	14	20	28	40
	14	20	28	40	56
	20	28	40	56	
	28	40	56		

カメラの保持についての注意

- 1** カメラを高温場所に放置しないでください。車のリアウインドウやトランクの中は60°C以上になることがあります、カメラ故障の原因になりますから絶対さけてください。
- 2** カメラを保存する場所は低温で湿気の少ないところをお願いします。
- 3** カメラをしまっておくときは、水銀電池を抜き出してください。入れたまましまっておくと、カメラ側の電池接点をいためるおそれがあります。
- 4** レンズに指をふれぬように扱ってください。指紋がついた場合は、レンズクリーナーで拭きとるか、シリコンクロスでそっと拭いてください。
- 5** カメラを長時間しまったまま使わないでいると、レンズにカビが生えるおそれがあります。

ファインダー窓

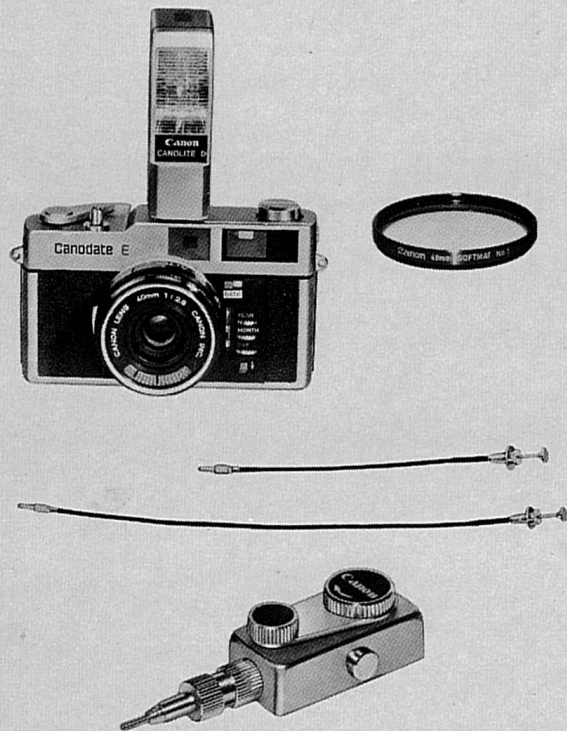
裏蓋

三脚ねじ穴

巻き戻しボタン

フラッシュ連動距離表示マーク





キヤノデートEのアクセサリー

キヤノライトD (ケース付き) 5,500円

48mm フィルター各種 900円

Y1, Y3, O1, G1, R1, UV, CCA4, CCA8,
CCA12, CCB4, CCB8, CCB12, スカイライ
ト, ND4, ND8

キヤノンレリーズ30 600円

// 50 800円

セルフタイマー 8 1,500円

レリーズ穴に取り付けて使います。スタートボタ
ンを押してから約 10 秒後に自動的にシャッター
が切れます。

EV8以下の明るさのときは、使わないでください

キヤノン株式会社

東京都中央区銀座 5-9-9 ☎104 ☎(03)572-4251

キヤノン販売株式会社

東京都品川区東五反田 1-13-12 ☎141 ☎(03)449-2111

東京営業部・(141)	東京都品川区東五反田1-13-12	(03) 449-2111
〃 千葉分室・(280)	千葉市千葉港4番3号(千葉県私学会館4階)	(0472) 43-9624
大阪営業部・(541)	大阪市東区瓦町5-39(大阪化繊会館3階)	(06) 202-6761
〃 京都分室・(600)	京都市下京区四条通東洞院角(富国生命ビル4階)	(075) 211-1388
〃 金沢分室・(920)	金沢市高岡町2-37(不銀ビル5階)	(0762) 63-0351
サービスステーション		
銀座・(104)	東京都中央区銀座5-9-9	(03) 572-4251
大阪・(530)	大阪市北区梅田2(第一生命ビル2階)	(06) 341-9335
名古屋・(450)	名古屋市中村区堀内町4-1(毎日会館2階)	(052) 581-3811
営業所・サービスステーション		
札幌・(060)	札幌市中央区北三条西4-1(第一生命ビル4階)	(011) 231-1313
仙台・(980)	仙台市一番町1-1-30(やまと生命仙台ビル6階)	(0222) 66-4151~7
新潟・(950)	新潟市東大通1-4-1(マルタケビル7階)	(0252) 46-0131~3
横浜・(231)	横浜市中区南仲通り4-39(石橋ビル1階)	(045) 201-2176
静岡・(420)	静岡市鷹匠2-7-2(静米会館1階)	(0542) 55-2241
名古屋・(466)	名古屋市昭和区阿由知通り4-13(朝日生命ビル6階)	(052) 851-4551
岡山・(700)	岡山市平和町4番7号	(0862) 22-8228
広島・(730)	広島市小町2-30(第二有楽ビル4階)	(0822) 44-4615
福岡・(812)	福岡市博多区博多駅前4-20-23(セントラルビル1階)	(092) 41-4172

